

**BIMコンテンツプラットフォーム「BIMobject」に日本のガーデン・エクステリアメーカーが初掲載
株式会社タカショーのガーデン・エクステリア商材 50 カテゴリの BIM データを掲載
～国内外で高まっているエクステリア商材の BIM データへの需要にいち早く対応～**



■タカショー社製のガーデン・エクステリアの BIM データ掲載イメージ

BuildApp で建設 DX に取り組む野原グループの BIMobject Japan 株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山梶真司)は、BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject(ビムオブジェクト)」が 2024 年 6 月上旬に、株式会社タカショー(本社：和歌山県海南市、代表取締役社長：高岡伸夫、東証スタンダード：7590) 及び同社の DX&XR 事業に特化した子会社の株式会社 GLD-LAB.(本社：鳥取県鳥取市、代表取締役社長：濱本真) のカーポート、テラス、目隠しフェンス、屋外家具などのガーデン・エクステリアⁱⁱ製品 50 カテゴリの BIM データ(対応 BIM ソフト：Autodesk Revit /Sketch up/ArchiCAD)を BIMobject 等に掲載し、国内外に公開したことをお知らせします。また、2024 年 7 月 25 日(木)、26 日(金)に東京流通センターにて開催する「タカショー ガーデン&エクステリアフェア 2024 (TGEF2024)」にて、BIMobject に掲載しているタカショーの BIM データ等について紹介予定です。

ガーデン・エクステリア製品については、BIMobject では、海外メーカー約 130 社だけが BIM データを掲載しており、BIMobject の世界各国のユーザー(設計士など)のダウンロードカテゴリランキングでトップ 10 に入るほどの需要があります。日本国内においては、エクステリア製品の BIM データは日本ユーザーの検索回数が多いにもかかわらず、国内メーカーの製品データは未掲載でした。

今回、タカショー及び GLD-LAB は、自社で BIM データを製作、ユーザーによるダウンロードのしやすさ、メーカーとしてのデータ管理のしやすさ(データ一括管理できる高機能なデータ管理システム)等を念頭にデータ掲載先として BIMobject(ビムオブジェクト)を選定、BIM での都市開発案件での自社製品の採用を狙い複数の BIM ソフトに対応したデータを公開する運びとなりました。BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」に会員登録(無料)をされている設計士は、BIM を活用した設計の際に、無料でタカショー社製品の BIM データをダウンロードし、設計業務の効率化に活用できます。

野原グループは、国内外での BIM 需要の拡大予測ⁱⁱⁱや、建設産業の生産性向上のカギと言われるフロントローディング^{iv}とその実現に向けて、建材・設備・家具メーカー各社の BIM オブジェクト^vの国内流通増に尽力してきました。2021 年以降は、BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム「BuildApp」で BIM を各建

設工程で必要なデータとして利活用し、建設工程全体の生産性向上を目指し、建設 DX 推進事業を強化しています。

野原グループは、「建設 DX で、社会を変えていく」ため、国内の BIM 活用環境の整備の一つとして、設計士からの需要が高い重機や仮設材などの BIM データの BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」への掲載を増やす予定です。

<タカショー社製のガーデン・エクステリア製品 | BIM データ公開概要>

BIM データ掲載場所	【BIMobject】 https://www.bimobject.com/ja/takasho?location=jp 【タカショー/ GLD-LAB.】 https://gld-lab.co.jp/bimobject/
対応 BIM ソフト	Autodesk Revit、Sketch up、ArchiCAD
主な掲載カテゴリ	フェンス・ガーデンファニチャー・カーポートなどのエクステリア製品

<タカショー ガーデン&エクステリアフェア 2024 (TGEF2024) での紹介予定概要>

開催日時	2024 年 7 月 25 日 (木)、26 日 (金)
会場	【リアル会場】 東京流通センター A・B・C・D ホール (東京都大田区平和島 6 丁目 1-1) 【オンライン会場】 Zoom ウェビナー
BIMobject の 主な出展内容	・ BIMobject に掲載しているタカショーの BIM データについて (活用方法等) ・ その他関連事項
参加費	無料 (事前登録が必要)
イベント公式サイト	https://ch.takasho.jp/tgef2024/

株式会社 GLD-LAB. 代表取締役社長 濱本真氏のコメント

“株式会社 GLD-LAB. は、株式会社タカショーが DX によるガーデン&エクステリアの空間デザイン及び販売を目的に 2022 年 7 月 28 日に設立した AR・VR・MR などのデジタル技術を活用したガーデンアプリや庭空間動画ソフトパッケージなどの製作会社です。

タカショー、GLD-LAB. としては、BIM を広げていきたい。BIM データを準備し、BIMobject や GLD-LAB. のサイトで配信することによって、設計者の業務効率に役立てていきたい。BIM を広げていき、GLD-LAB. が BIM データのデータバンクとしての役割も担いたい。BIMobject に載せることにより、設計者にリーチ、簡単にデータを探せて、BIM に関する問い合わせが増えることを期待している。社内外を含め、BIM の活用を周知していくことに苦勞するが、BIM を使ってもらえれば便利さがわかるので、まず使ってもらえるような環境を整備していきたい。国内に限らず海外市場でもタカショー商品をプラン採用・販売いただく設計会社・施工会社のニーズにしっかり応えていきたい。” (株式会社 GLD-LAB. 代表取締役社長 濱本真)

BIMobject Japan 株式会社と BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」について

BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品の 3D デジタルコンテンツを始めとするあらゆる情報/データを掲載する世界最大のプラットフォームです。

メーカーにとっては自社製品をグローバルに発信する場になっています。様々なサイトやソリューションとも幅広く連携できる他、全てを一括管理できる高機能なデータ管理システムとしての側面も持っています。設計者にとってはメーカー監修のオブジェクトデータを無料で入手できる場となっています。

日本国内では、野原グループ株式会社と、BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」を世界的規模で展開する BIMobjectAB (Malmö Sweden) が 2017 年 12 月 27 日付で設立した、BIMobject Japan 株式会社が、国内向けにサービス運営をしています。

▼BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」
<https://www.bimobject.com/ja>

bimobject[®]

▼BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」への掲載に関するお問い合わせ先

野原グループ株式会社

BuildApp 事業統括本部 建設 DX 推進統括部 建設 DX ソリューション営業部 テクニカルサポート課

E-Mail : japan@bimobject.com

BuildApp

建設プロセスに、革新と未来を。

「BuildApp（ビルドアップ）」は、設計事務所やゼネコンが作成した BIM 設計データをより詳細なデータに置き換え、各建設工程に必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までを BIM でつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供します。そして、設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2 削減に貢献します。

「BuildApp」は、建設サプライチェーンの抜本的な効率化と未来へ繋がる成長をサポートし、皆さまと一緒に建設業界をアップデートしていきます。



私たちが BuildApp で実現したいこと

- ・ BIM 起点のデータで建設関係者を繋いで連携を生む
- ・ 工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消する
- ・ DX^{vi}による生産性向上や廃材・CO2 排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーン^{vii}を変革し、「建設 DX で、社会を変えていく」

<お問い合わせ先>

BuildApp WEB	https://build-app.jp/			
お問い合わせ先	フォーム入力	https://build-app.jp/contact/	電話	03-4535-1158

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。



建設DXで、社会を変えていく

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量や CO2 の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject」への掲載に関するお問い合わせ先】

野原グループ株式会社
BuildApp 事業統括本部 建設 DX 推進統括部
建設 DX ソリューション営業部 テクニカルサポート課
E-Mail : japan@bimobject.com

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社
マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：森田・齋藤）
E-Mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

-
- i BIM（ビム）とは、国土交通省によれば、「Building Information Modelling」の略称で、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することです。
- ii エクステリアとは、庭や外壁などの建物の外観全体を表す言葉として使用されており、門扉やカーポート、フェンスなどの設備も含まれています。
- iii 国土交通省の調査では、国内BIM/CIM活用業務・工事業数は2012年（平成24年）から2023年3月末（令和4年度）までの累計事業数は3,257件で、そのうち業務が1,966件、工事が1,291件とBIM/CIM活用が年々増加しています。世界のBIM市場規模は、2021年は65億米ドル、2027年には154億米ドルに達すると予測されています。
【参考1】国土交通省WEB <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001624304.pdf>
【参考2】「ビルディングインフォメーションモデリングの世界市場：産業動向、シェア、規模、成長、機会、および予測（2022年～2027年）」
- iv フロントローディングとは、国土交通省によれば、初期の工程（フロント）において負荷をかけて事前に集中的に検討する手法です。後工程で生じそうな仕様変更や手戻りを未然に防ぎ、品質向上や工期の短縮化に効果があります。
http://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcim1stGuide_R0109_hidaritojiryomen_0909.pdf
- v BIMオブジェクトとは、BIMを構成する最小単位で、寸法・形状・仕様・性能・品番などが属性情報として入力された3Dデータで表現されます。【参考】BUILT×BuildAppNews「BUILTトレンドウォッチ」第3回「BIM objectとは？」
- vi DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省の定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。
- vii サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのことをいいます。